

さくらインターネット株式会社 (3778) 2011年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役社長 田中邦裕

2010年11月4日

さくらインターネット株式会社

(C)Copyright 1996-2010 SAKURA Internet Inc.

I.	さくらインターネットについて	P.3
II.	業績概要	P.9
III.	今後の展望	P.19
	(参考資料)	P.24

I. さくらインターネットについて

1. 会社概要

商号	さくらインターネット株式会社 (SAKURA Internet Inc.)	
本社	大阪府中央区南本町一丁目8番14号	
設立	1999年8月17日 (サービス開始は1996年12月23日)	
事業内容	インターネットへの接続サービスの提供 インターネットでのサーバの設置及びその管理業務 電気通信事業法に基づく電気通信事業 など	
取締役	代表取締役 社長	田中 邦裕
	取締役 副社長	舘野 正明
	取締役	川田 正貴
	取締役	澤村 徹
	取締役	村上 宗久
	取締役 (社外)	瓦谷 晋一
資本金	8億9,530万円	(2010年9月30日現在)
従業員数	165名	(2010年9月30日現在)

2. データセンター事業者の分類

柔軟性・拡張性（高） / 導入簡便性（低）

柔軟性・拡張性（低） / 導入簡便性（高）

収益性（低） / サービス単価（高）

収益性（高） / サービス単価（低）

【コロケーション】

データセンター事業者が運営する施設内に、顧客が所有するサーバなどの機器類の設置スペースを貸与するサービス

オープンスペース単位

個室（ケージ）単位

ラック単位

ハウジング
サービス

【ホスティング】

データセンター事業者が所有するサーバなどの機器類を、Web上で顧客が利用するサービス

当社が提供するサービス

専有
ホスティング

専用サーバ
サービス

仮想化
ホスティング

仮想サーバ
サービス

共有
ホスティング

レンタルサーバ
サービス

- 当社は、国内のインターネット黎明期から、コロケーション（一部）とホスティングの双方を提供

3. 当社が提供するサービス

ハウジング サービス



ハウジング

顧客が所有するサーバなどの機器類を設置するスペースと回線、電源などを貸与するサービス

専用サーバ サービス



専用サーバ
Platform St
専用サーバ
Platform

最大20台



専用サーバ
専用サーバ
複数台構成
オプション

1~4台



新サービス

仮想サーバ サービス



さくらの
VPS

(※10年9月1日より提供開始)

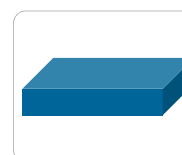
仮想化技術を用いて、1台の物理サーバ上に複数の仮想サーバを構築し、仮想専用サーバとして利用するサービス

レンタルサーバ サービス



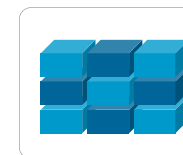
さくらの
マネージド
サーバ

1台を専有



さくらの
レンタル
サーバ

1台を共有



<サービスの主な利用用途>

エンタープライズ

SNS、Webアプリケーション、SaaS、ASP

会員制サイト、キャンペーンサイト

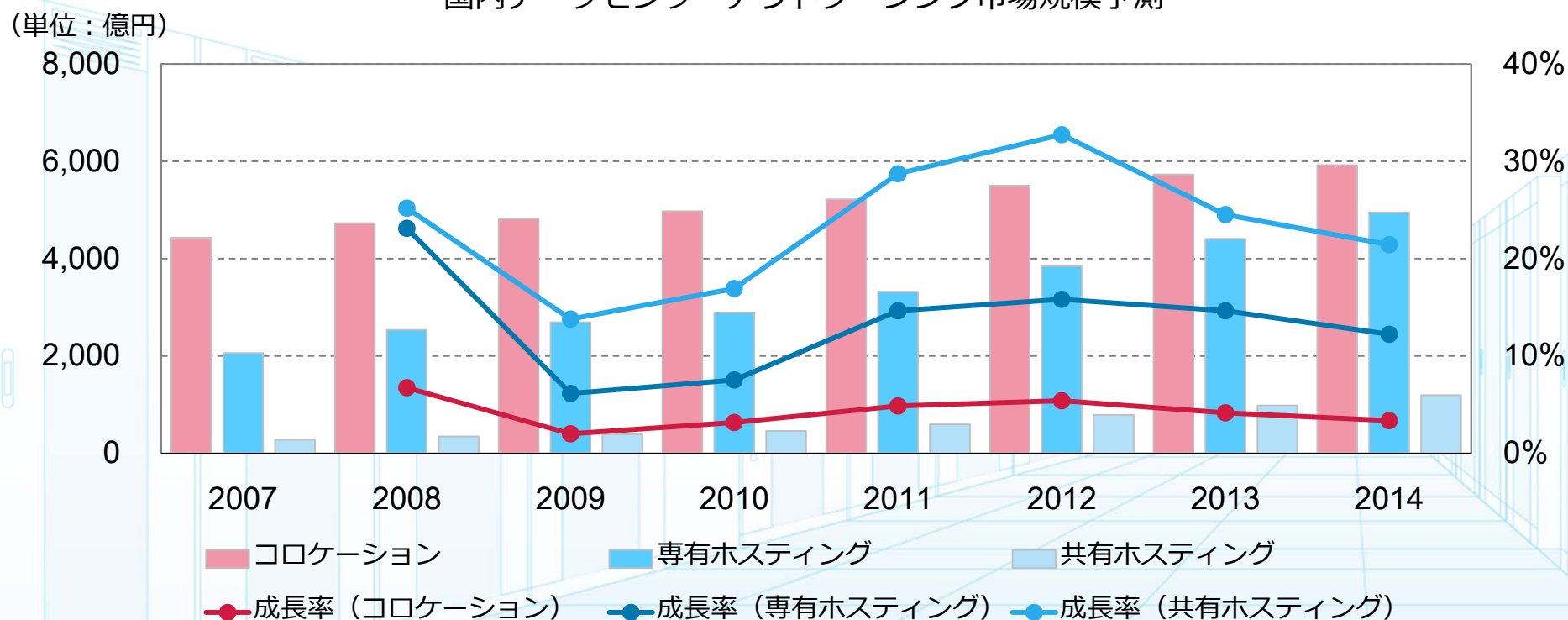
ネットビジネス、電子商取引、動画・音楽配信

インターネットメール、Webサイト運営

4. 国内データセンターの市場動向

- IT環境のアウトソーシング需要やIT資産のオフバランス化需要の高まりなどにより、市場成長が今後も続く見通し
 - 特にホスティング分野は高い成長率を維持

国内データセンターアウトソーシング市場規模予測



出典：IDC Japan, 2010年9月「国内データセンターアウトソーシング市場
2009年の実績と2010年～2014年の予測：ユーザー実態調査」(J10360102)

- 長年にわたり蓄積されたデータセンター事業の運営ノウハウと強み

	現在	将来										
ITインフラ	<ul style="list-style-type: none"> 国内トップのバックボーンネットワーク容量 	<ul style="list-style-type: none"> 国内最大級の郊外型大規模データセンターを建設 										
開発・運用体制	<ul style="list-style-type: none"> ホスティングサービスの事業ノウハウ <ul style="list-style-type: none"> ▶ 当社サービスに最適化された自社開発サーバ ▶ インターネットに関する様々な技術の実用化に取り組む研究組織 ▶ システム開発からサポート・運用まで一体的に自社対応が可能なオペレーションなど 											
ブランド・顧客基盤	<ul style="list-style-type: none"> 国内トップクラスの顧客基盤 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 専用サーバサービスの契約件数：1万件超 ▶ レンタルサーバサービスの契約件数：25万件超 特定顧客に依存しない売上構成 <div style="text-align: center;"> <p>▲10年9月度 月額料金別売上構成比</p> <table border="1"> <caption>月額料金別売上構成比 (2010年9月度)</caption> <thead> <tr> <th>月額料金区分</th> <th>売上構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月額料金10万円未満の顧客売上高</td> <td>36.8%</td> </tr> <tr> <td>月額料金10万円以上100万円未満の顧客売上高</td> <td>26.9%</td> </tr> <tr> <td>月額料金100万円以上1,000万円未満の顧客売上高</td> <td>25.3%</td> </tr> <tr> <td>月額料金1,000万円以上の顧客売上高</td> <td>11.1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> 		月額料金区分	売上構成比	月額料金10万円未満の顧客売上高	36.8%	月額料金10万円以上100万円未満の顧客売上高	26.9%	月額料金100万円以上1,000万円未満の顧客売上高	25.3%	月額料金1,000万円以上の顧客売上高	11.1%
月額料金区分	売上構成比											
月額料金10万円未満の顧客売上高	36.8%											
月額料金10万円以上100万円未満の顧客売上高	26.9%											
月額料金100万円以上1,000万円未満の顧客売上高	25.3%											
月額料金1,000万円以上の顧客売上高	11.1%											

II.業績概要

1. 第2四半期累計期間の経営成績

(金額：百万円)

科目名	10/3期 Q2累計		11/3期 Q2累計		前年同期比較	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,820	100.0	4,211	100.0	390	10.2
(ハウジング)	1,493	39.1	1,508	35.8	14	1.0
(専用サーバ)	1,241	32.5	1,560	37.1	318	25.7
(レンタルサーバ)	563	14.8	705	16.7	141	25.1
(その他)	521	13.6	436	10.4	△84	△16.2
売上総利益	1,022	26.8	1,421	33.8	398	39.0
営業利益	271	7.1	654	15.5	382	140.9
経常利益	254	6.7	646	15.3	391	153.6
当期純利益	47	1.2	298	7.1	251	528.9

1. 第2四半期累計期間の経営成績

科目名	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当初予想 (A) (10年4月26日発表)	4,200	430	420	240	5,531.48
修正予想 (B) (10年7月12日発表)	4,200	540	530	280	6,453.40
実績 (C)	4,211	654	646	298	6,888.44
増減額 (C-B)	11	114	116	18	
増減率 (%)	0.3	21.2	21.9	6.7	
前期実績 (10年3月期Q2累計)	3,820	271	254	47	1,068.21

2. 第2四半期累計期間の財政状態

(金額：百万円)

科目名	10/3期 期末時点	11/3期 Q2末時点	科目名	10/3期 期末時点	11/3期 Q2末時点
流動資産	1,872	2,167	負債合計	3,322	3,449
固定資産	3,204	3,291	流動負債	2,792	2,960
有形固定資産	2,587	2,764	固定負債	530	488
無形固定資産	99	65	純資産合計	1,755	2,010
投資その他の資産	518	462	株主資本	1,696	1,951
資産合計	5,077	5,459	負債純資産合計	5,077	5,459

3. 経営成績の四半期推移

(金額：百万円)

科目名	10/3期				11/3期	
	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(Q4)	(Q1)	(Q2)
売上高	1,872	1,948	1,962	2,029	2,094	2,117
売上総利益	483	539	594	654	706	714
売上総利益率(%)	25.8	27.7	30.3	32.3	33.8	33.8
営業利益	110	161	201	275	314	340
営業利益率(%)	5.9	8.3	10.3	13.6	15.0	16.1
経常利益	101	153	194	274	309	336
経常利益率(%)	5.4	7.9	9.9	13.5	14.8	15.9
四半期純利益	90	△43	176	343	108	190
四半期純利益率(%)	4.8	△2.2	9.0	16.9	5.2	9.0

4. キャッシュ・フローの四半期推移

(金額：百万円)




科目名	10/3期				11/3期	
	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(Q4)	(Q1)	(Q2)
営業CF	485	434	519	581	493	503
投資CF	△222	△355	△208	△207	△271	△238
営業CF－投資CF	263	79	311	373	222	265
財務CF	△162	△232	△140	△144	△165	△143
現金及び現金同等物の増減額	100	△152	171	229	56	122
現金及び現金同等物の四半期末残高	923	770	942	1,172	1,228	1,351

5. 主要施策の進捗状況

	第2四半期会計期間の主な実績	第3四半期以降の主な取り組み
営業・販促	<ul style="list-style-type: none"> 一般企業のエンタープライズ用途の需要取り込みに特化した営業チームを設置 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドコンピューティングEXPO（10年11月10~12日）に出展
サービス開発	<ul style="list-style-type: none"> 当社初の仮想サーバサービスとして、「さくらのVPS」を投入 	<ul style="list-style-type: none"> クラウド（IaaS）サービスの投入 専用サーバサービスのハイスペックモデル投入 レンタルサーバサービスのユーザビリティ改善
データセンター	<ul style="list-style-type: none"> バックボーンネットワーク回線容量を追加増強（232Gbps） 本町データセンターを閉鎖し、堂島データセンターに機能集約 	<ul style="list-style-type: none"> 堂島データセンター拡張フロアの運用開始（10年11月より） 石狩データセンター（仮）の進捗 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 土地取得（10年11月予定） ▶ 着工（11年3月予定）
サポート運用	<ul style="list-style-type: none"> コールセンタースタッフを増員 	<ul style="list-style-type: none"> 土日営業の実現に向けて、顧客対応ノウハウを蓄積
技術研究	<ul style="list-style-type: none"> 自由度の高いサーバ運営が可能となる仮想化技術の実用化に成功 	<ul style="list-style-type: none"> 「さくらのVPS」のサービス競争力を高める仮想化技術の研究

6. 第2四半期会計期間の主なトピック

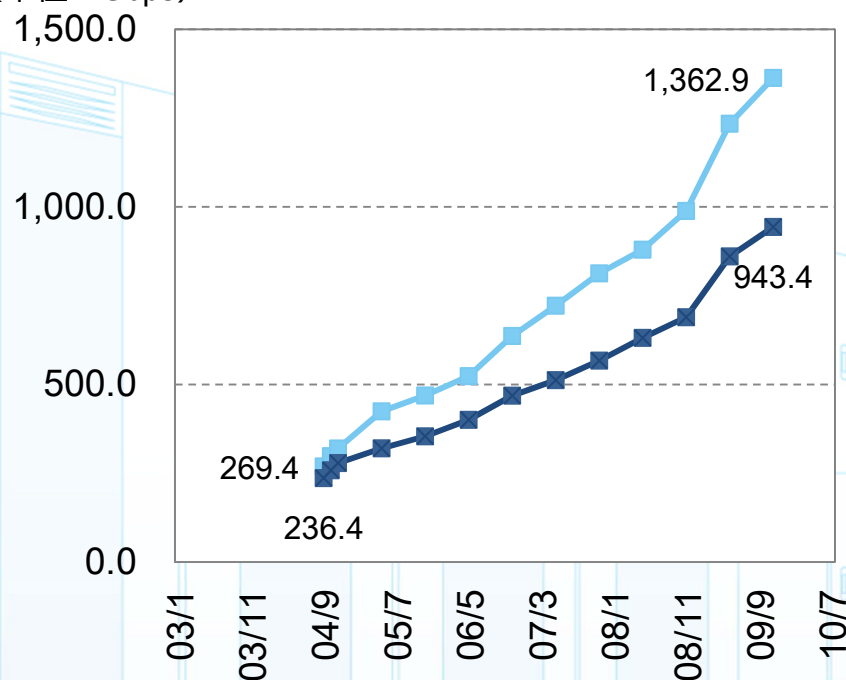
- 当社初の仮想サーバサービス「さくらのVPS」を提供開始（2010年9月1日）
 - サービス特長
 - 専用サーバ並みの自由度（ユーザーが各々自由にサーバの環境設定が可能）
 - 低価格（初期費用なし・月額料金980円）

	専用サーバ サービス	仮想サーバ サービス	レンタルサーバ サービス
			
サーバ	専用	共用	共用
OS・アプリの 個別設定	可能	可能	不可
月額料金	7,800円～	980円	125円～

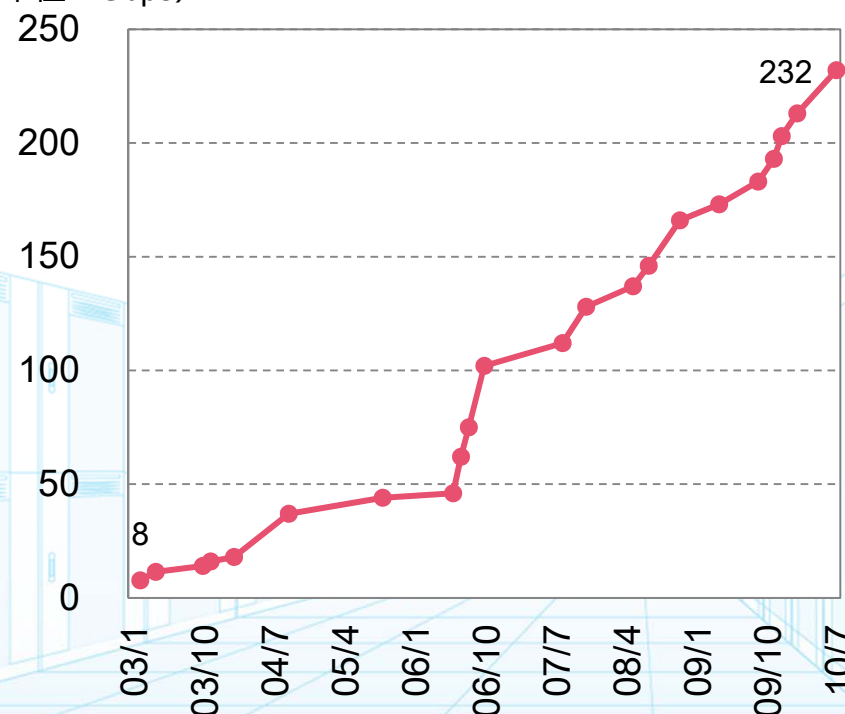
6. 第2四半期会計期間の主なトピック

- バックボーンネットワーク回線容量を **232Gbps** に増強 (2010年7月31日)
 - ※ インプレスビジネスメディア「インターネットデータセンター完全ガイド2010年夏号」『iDC なんでもランキング「インターネット回線総量Top20!」』にて第1位

(単位: Gbps)



(単位: Gbps)



■ 国内ブロードバンド契約者のダウンロードトラフィック総量
■ 国内ブロードバンド契約者のアップロードトラフィック総量

● 当社回線容量

出典: 総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィック総量の把握」

6. 第2四半期会計期間の主なトピック

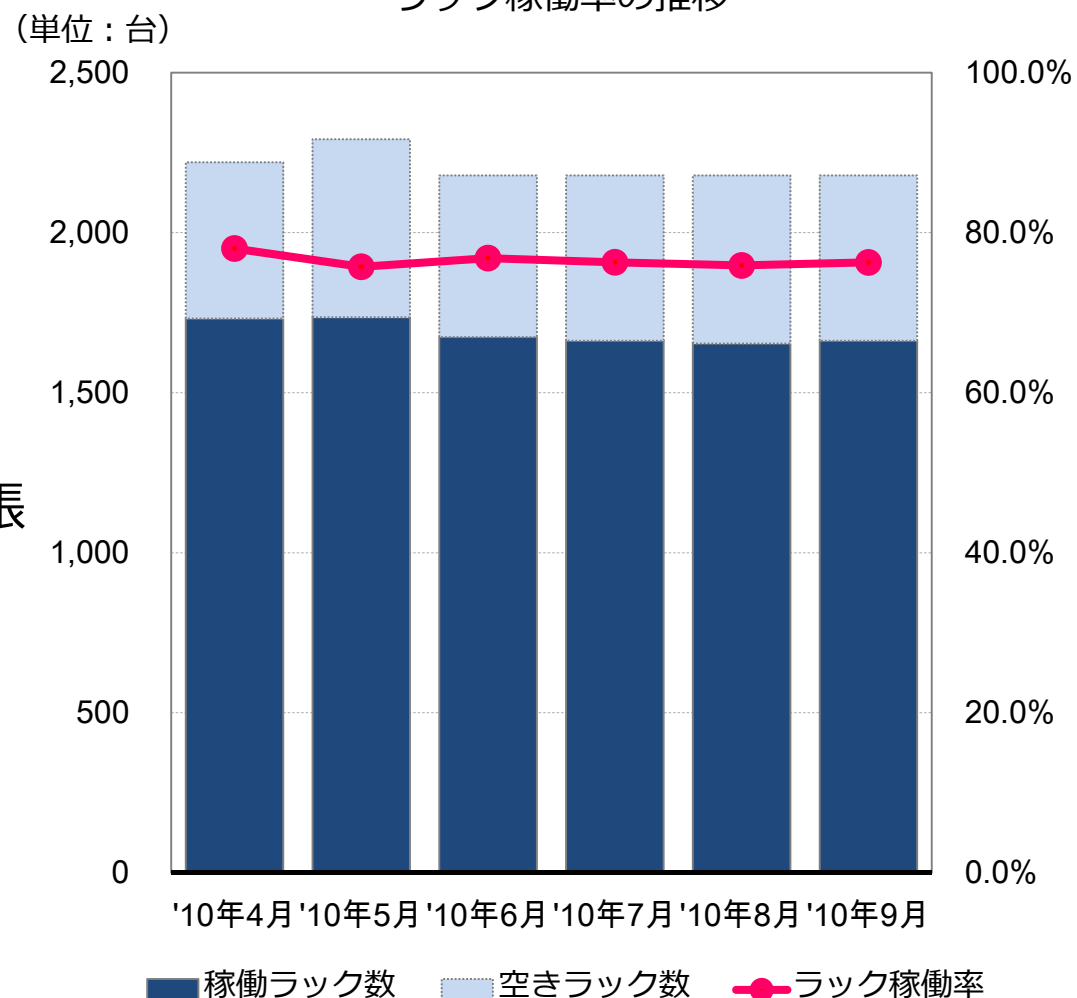
- 本町データセンターの閉鎖

所在地	大阪市中心区
ラック撤去時期	10年6月
撤去ラック数	113基
閉鎖理由	他のデータセンターに機能集約し、採算性を高めるため

- 堂島データセンターのフロア拡張

所在地	大阪市北区
運用開始予定日	10年11月1日
設置ラック数	約190基
拡張理由	ホスティングサービスの好調な受注環境

ラック稼働率の推移

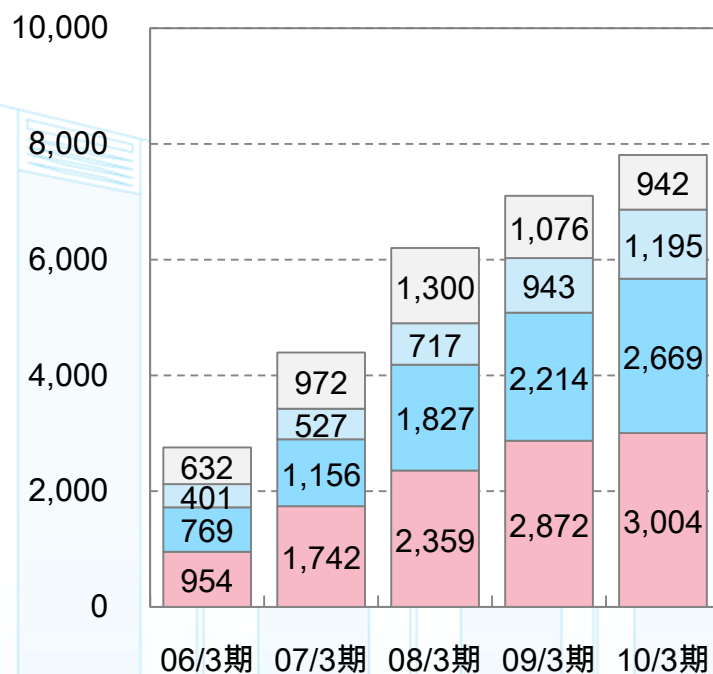


III. 今後の展望

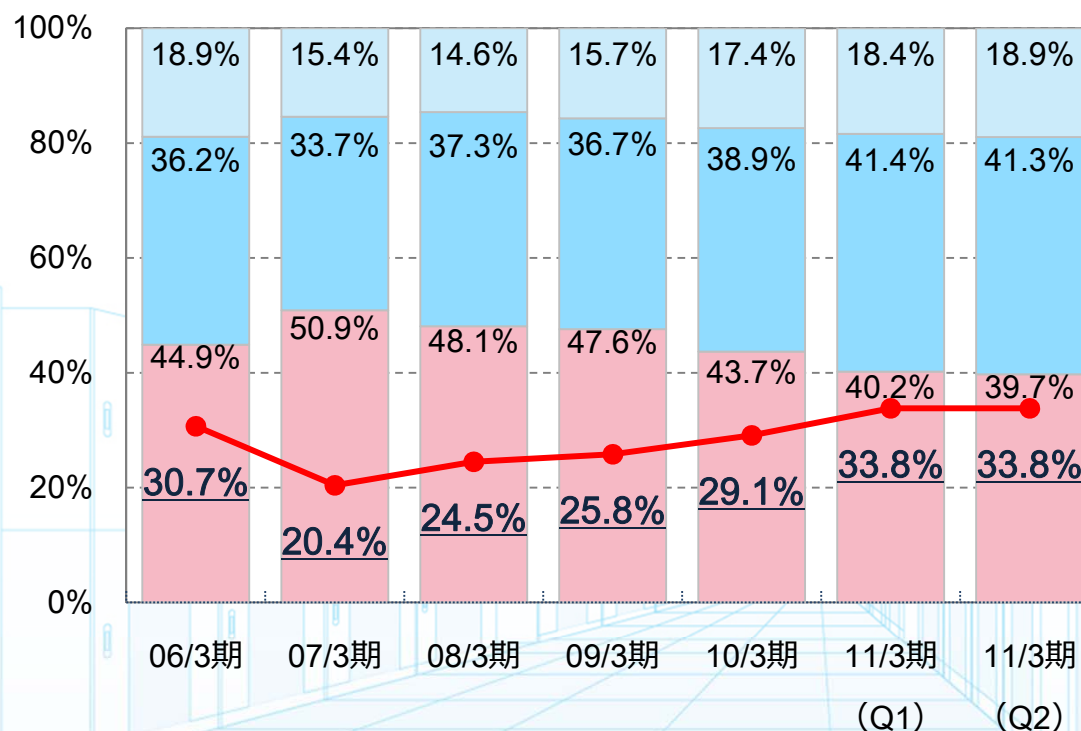
1. サービス別売上高の変遷（06/3期～現在）

- 収益性の高いホスティング分野の売上構成比が高まるとともに、利益率も改善

サービス別売上高
(単位：百万円)



主要サービス別売上構成比



■ ハウジング ■ 専用サーバ
■ レンタルサーバ ■ その他

■ ハウジング ■ 専用サーバ ■ レンタルサーバ ● 売上総利益率

(※) 売上構成比は、「その他サービス」の売上高を控除した、主要サービス（ハウジング、専用サーバ、レンタルサーバ）の売上高合計値から算出

2. 石狩データセンター（仮）による収益構造の転換

< 石狩データセンター（仮）建設予定 >

収益性の向上

従来の都市型データセンターと比較して、ITコストが半分以下となる石狩データセンター（仮）の稼働により、利益率をさらに高める



成長性の向上

世界標準のコストパフォーマンスを実現したサービスを市場に提供することで、当社の企業成長のみならず、国内IT市場全体の発展に貢献する

期		予定内容
11/3期	(Q3)	用地取得 資金調達手段の最終調整
	(Q4)	着工
12/3期	(Q1)	竣工 運用開始
	(Q2)	
	(Q3)	
	(Q4)	

3. 2011年3月期 通期見通し

科目名	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	8,700	900	880	520	11,984.88
今回修正予想	8,700	1,050	1,030	550	12,676.32
増減額	—	150	150	30	
増減率	—	16.7	17.0	5.8	
前期実績 (2010年3月期)	7,812	748	723	567	12,906.39



- ※ 当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ IRに関するお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 東京支社

Tel : 03-5332-7070

E-mail : ir@sakura.ad.jp

担当 : 岡本

- a. 企業プロフィール P.25
- b. 将来戦略 P.27
- c. 新データセンター建設計画 P.31

a. 企業プロフィール

- 現・代表取締役社長 田中 邦裕が、学生時代に創業した会社です。

1994年	<ul style="list-style-type: none">• 国立舞鶴工業高等専門学校に入学• 初めてOS (Unix) に触れ、サーバやネットワークについて学ぶ
1996年	<ul style="list-style-type: none">• 同校内のネットワークがインターネットに接続され、初めてインターネットに触れる• さくらインターネットを創業し、ホスティングサービスの提供を開始
1998年	<ul style="list-style-type: none">• 国立舞鶴工業高等専門学校を卒業
1999年	<ul style="list-style-type: none">• さくらインターネット株式会社設立• データセンターを大阪（本町）および東京（池袋）に開設• ハウジングサービスの提供を開始
2004年	<ul style="list-style-type: none">• 月額125円から利用できる「さくらのレンタルサーバ」の提供を開始
2005年	<ul style="list-style-type: none">• 東証マザーズに上場
2008年	<ul style="list-style-type: none">• 双日株式会社を引受先とする第三者割当により、資本金を8億9,505万円に増資
2010年	<ul style="list-style-type: none">• 北海道石狩市に国内最大級の郊外型データセンターの建設計画を発表

b. 将来戦略

【 所有 】

●国内サーバ市場



・09年から14年までの年間平均成長率：△2.9%

出典：IDC Japanプレスリリース(2010年5月)

「国内サーバー市場予測を発表」

【 利用 】

●国内データセンターサービス市場



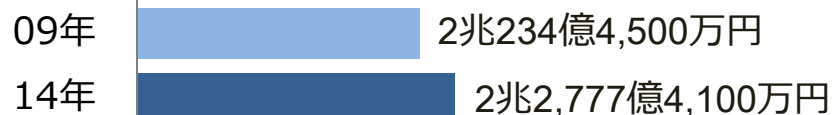
・09年から14年までの年間平均成長率：8.8%

出典：IDC Japanプレスリリース(2010年10月)

「国内データセンターアウトソーシング市場予測を発表」

【 構築 】

●国内ソフトウェア市場



・09年から14年までの年間平均成長率：2.3%

出典：IDC Japanプレスリリース(2010年9月)

「国内ソフトウェア市場規模予測を発表」

【 サービス 】

●国内クラウドサービス市場



・09年から14年までの年間平均成長率：37.5%

出典：IDC Japanプレスリリース(2010年9月)

「国内クラウドサービス市場予測を発表」

当社サービスの市場競争力がさらに強化

ホスティングサービス

- 仮想化技術を活用し、「さくらのVPS」を投入（2010年9月）
- 既存サービスの機能を継続的に強化

クラウドサービス

- 「さくらのVPS」の運用ノウハウをIaaSサービスの投入に活用
- PaaSサービスの提供実現に向けた仮想化技術の研究

コストパフォーマンスに優れた幅広いサービスラインナップ

ITインフラ

開発・運用体制

ブランド・顧客基盤

長年にわたり蓄積されたデータセンター事業の運営ノウハウと強み

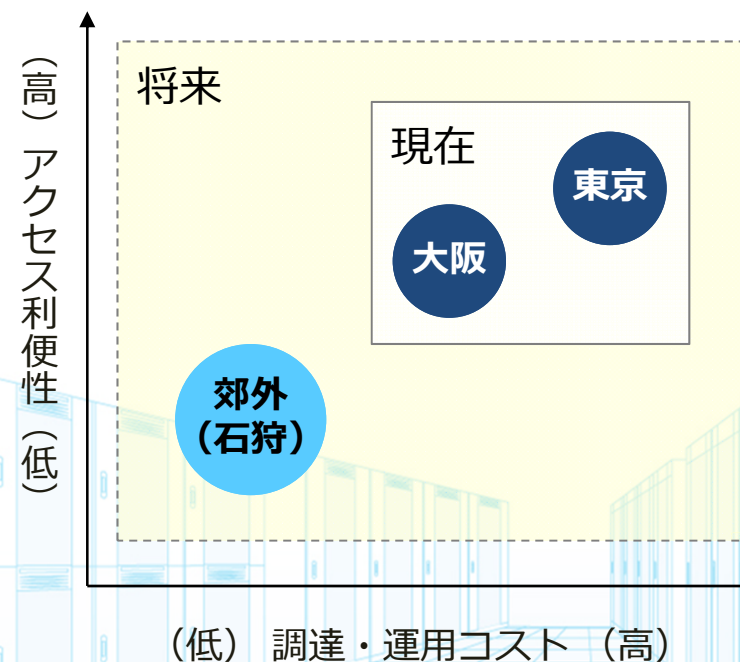
- 各サービスの需要特性に応じて、各拠点（データセンター）の用途転換や機能移転・統合などを実施し、事業効率と収益性の向上に取り組めます。

ハウジング（コロケーション）

- 利用者側で通信機器類やシステムの管理が必要となるため、アクセス利便性が求められる
⇒ 都市型必須

ホスティング・クラウド

- インターネット経由で通信機器類やシステムの管理が可能であるため、アクセス利便性は必要ない
⇒ 郊外型が有利



**ホスティング・クラウドサービスに特化した
国内最大級の郊外型データセンターを建設**

C. 新データセンター建設計画

1. 建設計画概要

施設名	石狩データセンター（仮）
建設地	北海道石狩市
敷地面積	51,448m ²
建物構造	地上2階建・鉄骨造
建築面積	3,850m ²
延床面積	6,325m ² （1期棟） ※最大8棟まで増築可能
ラック数	500ラック（1期棟） ※最大4,000ラックまで増設可能
供給電力	標準8kVA/ラック ※最大15kVA/ラック
設計施工	大成建設株式会社
竣工時期	2011年秋を予定

<完成イメージ>



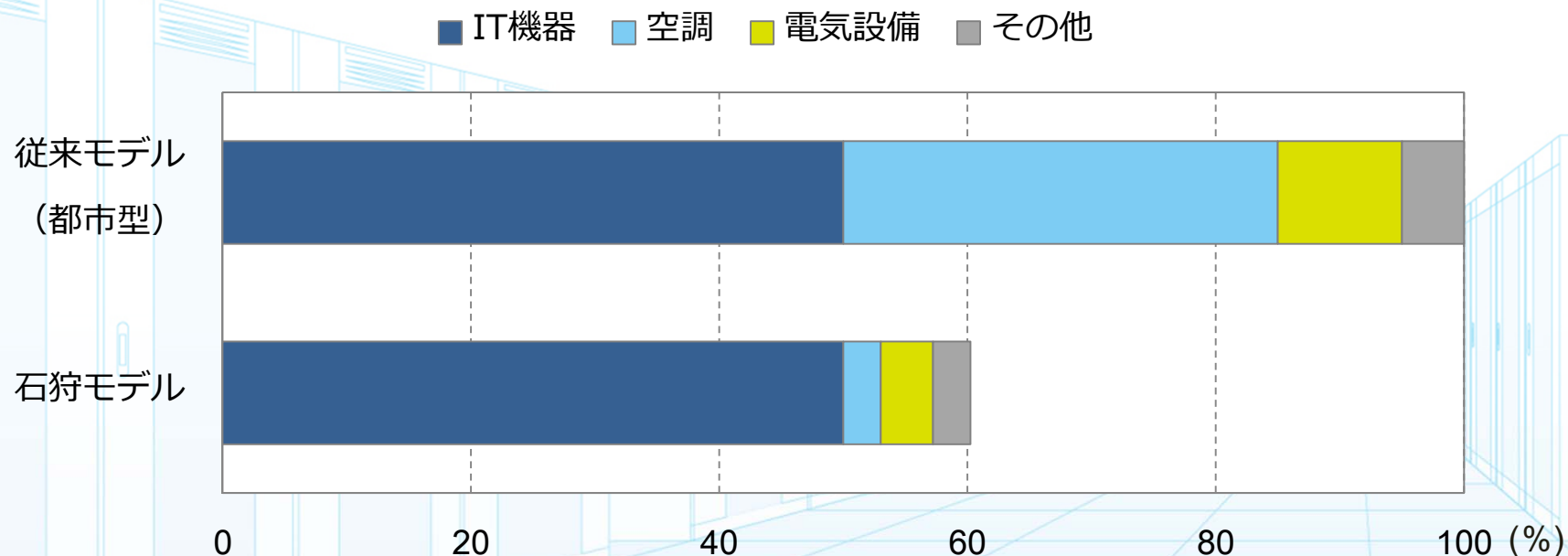
外観図（1期棟：500ラック）

- 札幌駅から車で約30分（約15km）、新千歳空港から車で約60分（約45km）の好アクセス
- 災害リスクの低いロケーション

2. 新データセンターの特長

- 北海道の低温外気を100%活用（環境に配慮した低コスト空調システム）
 - ほぼ通年にわたって外気を活用し、空調コストを徹底的に削減
※従来モデル（都市型）を100とすると石狩モデルは60

【データセンターの消費電力量 内訳】



※ 当資料は、「従来モデル（都市型）」と「石狩モデル」によるデータセンターの消費電力量の内訳を説明するために作成したものです。したがって、環境の変化などのさまざまな要因により、実際の結果と異なる可能性がある点をご承知ください。

- 「郊外型」 + 「大規模」によるスケールメリットと柔軟性
 - 共用設備（特高受変電設備や事務棟など）の効率的な利用と、運用保守スタッフの生産性が向上
 - 分棟式を採用することで、当初から大規模な建物を建設する必要がなく、需要動向に応じた拡張計画が可能

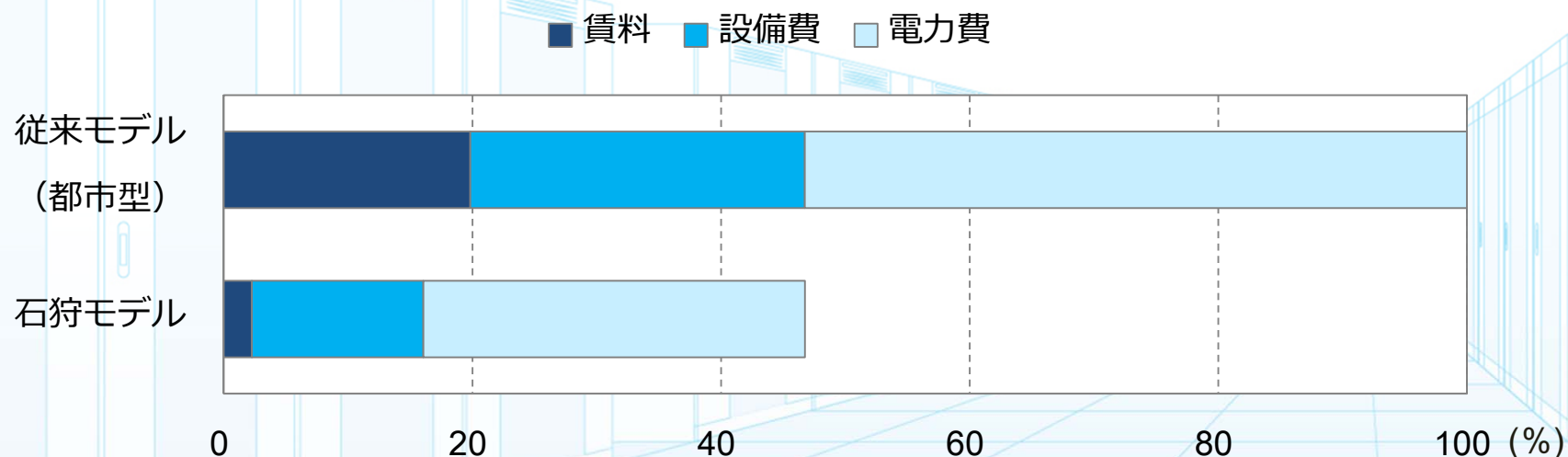


▲全体図（最終8棟：合計4,000ラック）

2. 新データセンターの特長

- 国内のデータセンターサービス料金を、世界標準に押し下げる圧倒的なコスト競争力
 - 東京23区内のデータセンター対応ビルを賃貸した場合と比較して、石狩モデルのITコストは半分以下になると想定
※従来モデル（都市型）を100とすると石狩モデルは47

【データセンターのコスト構造 内訳】

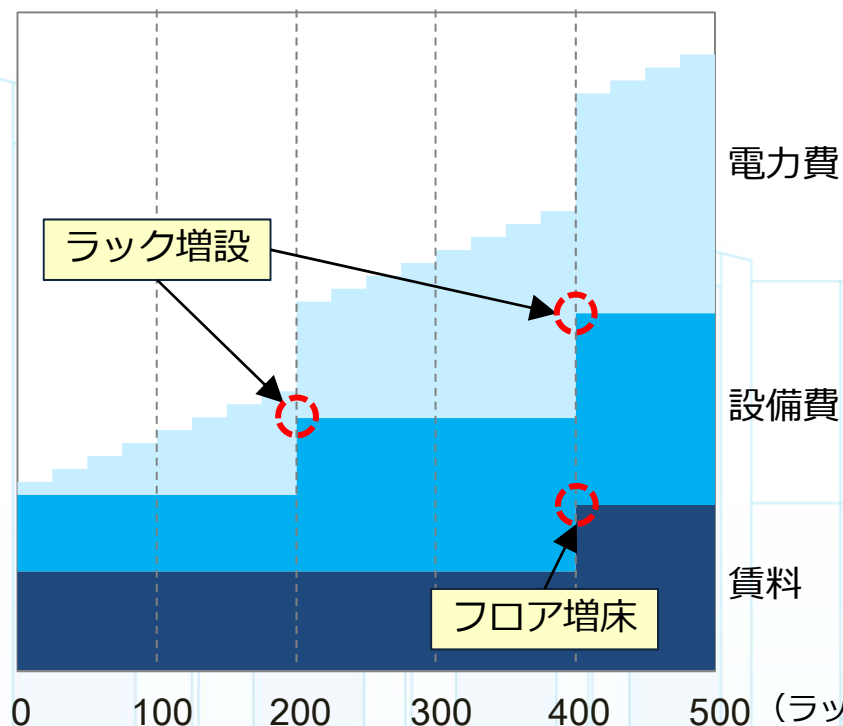


※ 当資料は、「従来モデル（都市型）」と「石狩モデル」によるデータセンターのコスト構造の概要等を説明するために作成したものです。したがって、環境の変化などのさまざまな要因により、実際の結果と異なる可能性がある点をご承知ください。

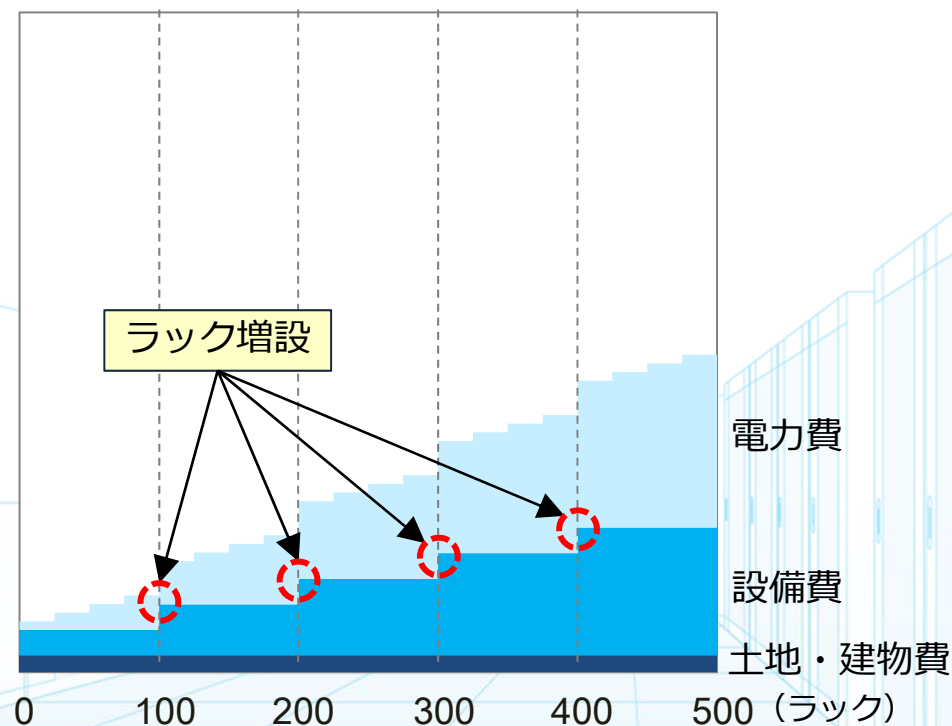
2. 新データセンターの特長

- 圧倒的なコストパフォーマンスを実現するコスト構造

【従来モデル（都市型）】
(コスト)



【石狩モデル】
(コスト)



※ 当資料は、「従来モデル（都市型）」と「石狩モデル」によるデータセンターのコスト構造の概要等を説明するために作成したものです。したがって、環境の変化などのさまざまな要因により、実際の結果と異なる可能性がある点をご承知ください。

2. 新データセンターの特長

- 環境に配慮した様々な取り組みにチャレンジ
 - IT機器から排出される熱を、事務室の暖房などに活用
 - 自然エネルギー（風力・雪氷など）の導入検討
 - コンテナ型データセンターへの対応可能な設計

